

1 事業概要

事務事業名		3 R 推進事業		課名	環境課	事業No.	161	
				会計	一般会計			
主要区分		主	記号	計画等名称	事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	戦略計画							
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21'いいだ環境プラン）				
				飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画				
				飯田市分別収集計画				
	法令・例規等			廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
				循環型社会形成推進基本法				
			容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律					
事業目的		対象	市民					
		意図	リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の推進					

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	燃やすごみへの混入量が増えてしまった「容器包装プラスチック」を、再びリサイクルのルートへ誘導するため、平成29年9月にサイズを縮小した容器包装プラスチック用指定ごみ袋を、平成30年12月に従前の大サイズに復元。ごみ処理費用負担制度と併せ「プラ資源」としての排出が、経済面で優位であるように誘導策を講じました。 3月に発行し全戸配布した「ごみリサイクルカレンダー」と「ごみ出しガイドブック」の中でも、この部分に重点を置いて啓発を行いました。		3 R 周知啓発関連経費				3,901	
			ごみ処理費用負担制度関連経費				17,043	
			資源回収事業補助金				2,509	
			容器包装リサイクル回収業務関係経費				39,523	
			リサイクルステーション管理事業経費				2,816	
			生ごみ処理機器購入費補助金関連経費				1,353	
			その他の経費			0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	ごみ収集方法の周知世帯数	世帯	39,804	39,899	39,895			
	資源ごみ（プラ）収集運搬日数	日	53	52	48			
	資源ごみ（金属）収集運搬日数	日	24	24	24			
	リサイクルステーション開催日数	日	48	48	48			
30年度 決算 (千円)	予算額	75,150	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	67,145	(そ) 古鉄売却代 2,012千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 古紙売却代 11,248千円				
		県支出金	0	(そ) ガラスびん売却代 35千円				
		地方債	0	(そ) ペットボトル再商品化還元金 1,898千円				
		その他	62,035	(そ) ごみ処理手数料 46,842千円				
	一般財源	5,110						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	1	10	1	24,535	23,453	リサイクル収集推進事業費
2	1	4	2	1	10	2	48,061	42,339	容器包装リサイクル事業費
3	1	4	2	1	10	3	2,554	1,353	生ごみ処理機器購入費補助事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		平成29年9月、燃やすごみの処理施設が、桐林クリーンセンターから稲葉クリーンセンターに移行し、ごみの分別区分が大きく変わりました。燃やすごみへの分別範囲が広がり、市民のごみ搬出が容易になった反面、本来リサイクルに区分いただきたい紙類や容器包装プラスチック類が燃やすごみに混入し、燃やすごみ量が増加する結果を招いています。							
上記の課題解決のための有効策		ごみの適正分別のためには、洗浄や分解などの「手間」が必要となります。市民の皆さんにこの「手間」をかけていただくために、「環境に対する負荷の低減」への意識付けと、「ごみ処理費用負担制度」の理解が必要です。							
次年度に向けての取り組み		プラ資源と、紙製容器包装について、燃やすごみから、資源ごみでの排出を推進する啓発を重点的に行います。							